

## 編集 後記

日本公衆衛生雑誌第62巻第4号をお届けします。本号には、原著1編、研究ノート3編が掲載されています。原著は、地域在住高齢者を対象としたランダム化比較試験によって、虚弱予防教室が虚弱と食習慣の改善に及ぼす効果を検討した論文です。高齢化が進行する現代における介護予防の公衆衛生学的な重要性は間違いないところですが、有効な介入プログラムが確立していないのが現状です。本研究で検討された介入プログラムは、虚弱傾向高齢者の「閉じこもり」を改善し、食習慣を改善する可能性があることが示されました。今後の介入プログラム開発に寄与する重要な知見といえましょう。

研究ノートは、夏の暑さ対策としてホームセンター等でも販売され普及している水道直結式ミスト発生装置の細菌汚染について検討したもの、外傷性頸髄損傷者の慢性期におけるセルフマネジメント確立過程についての質的分析、精神障がい者家族ピア教育プログラムの1つについて、その実施プロトコルが遵守されている程度を評価する尺度としてのフィデリティ尺度を開発したもの、と実に多岐にわたっています。このように、自分の専門分野ではあまり目にしないアプローチや知見に触れるこ

### 次号予告 (第62巻・第5号)

#### 総説

妊娠中のヨガ(マタニティ・ヨガ)の有効性に関する文献的考察(システマティック・レビュー)  
.....川西康之, 他

#### 短報

13項目7件法 sense of coherence スケール日本語版の基準値の算出.....戸ヶ里泰典, 他

#### 公衆衛生活動報告

東京都におけるデング熱国内感染事例の発生について.....関なおみ, 他

#### 資料

地域在住高齢者における自転車関連事故発生率とその傷害率  
潜在的傷害事故の把握に向けた検討  
.....桜井良太, 他

とができ、新鮮な刺激を受けられるのが、本誌の利点の1つではないかと思えます。今後もこのような多様性が維持されることを願っております。(中澤 港)

## 日本地域看護学会第18回学術集会

日 程：2015年8月1日(土)・2日(日)

会 場：パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい1-1-1)

メインテーマ：健康長寿社会に向けた地域看護学のグランドチャレンジ

主なプログラム：学術集会長講演「健康長寿社会に向けた地域看護学のグランドチャレンジ」田高悦子(横浜市立大学教授)/特別講演「健康長寿社会に向けた地域ケア政策と人材育成における展望と課題」大森 彌(東京大学名誉教授)/教育講演Ⅰ「地域を基盤にした生涯にわたる健康づくりとソーシャルキャピタル」山縣然太郎(山梨大学教授)/教育講演Ⅱ「高齢者の健康と社会的ネットワークの形成に関する地域介入」芳賀 博(桜美林大学教授)/シンポジウムⅠ「人口減少社会における新しい地域づくり～新しい公共の創出と協働～」/シンポジウムⅡ「すべての子どもが健やかに育つために～生涯に通じる子どものセルフケア能力の育成～」/ワークショップⅠ「科学としての地域看護学～質的研究について考える～」高木廣文(東邦大学看護学部長)/ワークショップⅡ「地域の見える化と統計解析～地域看護学へのGISの応用～」宮澤 仁(お茶の水女子大学准教授)/理事会企画セミナー「医療介護確保推進法後の保健医療福祉：地域看護領域へのインパクト」/市民公開講座「遺品整理の最前線～命綱としての地域コミュニティ～」小根英人(一般社団法人遺品整理士認定協会副理事長)/一般演題、指定集会、自由集会、共催ランチョンセミナー、スチューデントカフェほか。

参加費 会員事前申込(6月30日まで)：9,500円/当日：11,000円

非会員事前申込(6月30日まで)：10,000円/当日：12,000円

学生(院生を除く)事前申込(6月30日まで)：2,000円/当日：3,000円

問い合わせ先：日本地域看護学会第18回学術集会事務局

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野

E-mail：jachn18@yokohama-cu.ac.jp

学会 HP：http://jachn.umin.jp/meeting/m18/index.htm